

城端地域 会議録

件名	城端地域提言実現検討組織による会議		
日時	令和元年 8 月 20 日 (火) 19 時～21 時	場 所	城端庁舎 2 階 202 会議室
出席者	検討組織メンバー：13 名、まちづくり推進係：2 名		
内容	①各種資料の説明 ②複合交流施設整備に係る維持管理コストの試算		
概要	<p>◆事務局（市）から、当日配布資料の説明</p> <p>◆質疑応答（→…事務局発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料 2 について、平均コストには人件費も含まれるのか。 →含まれる。庁舎については、管理に係る人件費を行政センター職員 1 人分として算出している。 ●平均コストの内訳を知りたい。 →資料 5 の 2 枚目に城端庁舎に係る数値がある。右端の床面積当り平均コストは、修繕料、光熱水費、人件費等の 5 ヶ年平均を対象施設面積で割ったもの。 ●他の施設の人件費については、庁舎と同じような考えで計算は出来ないのではないか。 ●市民センター部分はもう少しコストがかかるものと思っていた。 ●人件費を別にした方が分かりやすいと思うが。 ●次回でいいので、資料 2 のランニングコストについては人件費を除いた内容で計算してほしい。 ●資料 2 の 2 枚目の黄色部分は、家賃をもらうなどして自分たちで維持管理していく部分とのことだが、黄色部分にある美山荘機能は高齢者福祉機能なので、青色部分にすべきではないか？ →公共施設再編計画では、美山荘は今後、市で保有しないこととしているので、美山荘に係る機能を入れる場合は市で見える扱いには出来ないと考えている。 ●市内の他地域にも美山荘と同様の機能がそれぞれあるのに、何故美山荘だけが機能も含めて保有されなくなるのか？施設の維持管理の面で大きな影響を及ぼすことになりかねないので、この点は大事なところ。美山荘はこのままの状態では維持出来ないというのは理解出来るが、美山荘機能となると、これは高齢者福祉機能なのだから、その認識を間違えないでほしい。美山荘が無くなることと、高齢者福祉機能はいらぬということとは、話が別である。 →福光の光龍館については、建物が市の指定文化財になっているので、引き続き市で管理にしていきたい。 ●市役所の内部で、高齢者福祉施設における根本的な機能の考え方についてしっかりとコンセンサスを図っていただきたい。 →次回までに考え方について確認しておく。可能であれば、担当者の方から説明させていただく。 ●共用の会議スペースを持つことは提言のポイントの一つであったはずなので、事業体毎に会議室を持つということはナンセンス。共用会議スペースの利用については、市商工会城端事業所や市社会福祉協議会城端支所からも応分の負担を求めたら良いと思う。共用スペースは必要であり、例えば、30 人収容の会議室、2 室の間仕切りを開けると 100 人収容の会議室など、共用会議スペースの位置までは想像出来ないが、どのくらいの広さを見込めばいいのかを検討した上で、一度試算してほしい。これも、次回会議で示してほしい。 ●こうやって見ていくと、勤労青少年ホーム機能も美山荘機能と一緒に感じるような感じがしてならない。 →資料 2 の「廊下等」で足りない部分、また、オープンスペースや待合ロビーで賄える機能など、調整していかなければならないことはたくさんあると思う。 ●利用出来るか出来ないかは、この資料だけでは分からない。 →会議室をどのように使うかにも因るだろう。 ●一番広い会議室で 100 m²は欲しい。 →例えば、城端図書館機能で 200 m²を見ているが、現城端図書館の 1 階閲覧スペースのみで大体 200 m²程である。 ●美山荘にはカラオケ同好会もあるが、会議室などに防音設備まで想定しているのか。 →民間のカラオケ店などもある中、行政で設置する必要はないと思っている。 ●複合交流施設の延床面積が 1,300 m²との試算だが、これがどの位の広さかを理解しないとダメである。 		

- 再三お伝えしていることだが、全体の面積ではなく、何のためにどれだけ必要なのかを検討することが大事である。
- それぞれの機能をここに一つに集めることで、機能が重なる部分を共用したり、それぞれの機能を多目的に活用したり、新たな可能性が見えてくるように思う。使いやすく、且つ無駄のない使い方について、今後具体的な検討が必要になると思う。
- あくまでこれは仮の試算だが、美山荘機能は担当課に確認するとしても、賑わい機能の部分について、年間250万円程の維持管理費がかかるのであれば、その費用をどのように捻出するのか、どんな賑わい機能が必要なのかを検討していただきたい。
- 検討している施設の運営方法は、指定管理方式になるのか？また、施設の使い方として、例えば、常駐職員一人が居て、みんなで使うのか、それとも、テナントとしてそれぞれ入って使うのか？
 - 施設に入る中身にも因るだろう。
 - 提言書のイメージだと、屋外的なイメージを持っていた。
- 資料2にある賑わい機能は、屋内部分のイメージである。提言書にある屋外部分は今回の試算に含んでいないが、否定しているものではない。
- 図書館について、元々1階しかなかったのが、手狭ということで、2階に入っていた当時の城端町中央公民館を移転させて800㎡程まで広げたのに、また、1階部分程の広さ(200㎡程)になるのは納得出来ない。せめて、現行の半分程度の広さ(400㎡程)は欲しい。
- これはあくまで仮の案。図書館の規模等については、市図書館協議会を通して決められることになるので、ここでは何ともお答え出来ない。
- 希望も言えないのか？希望ぐらいは言わせてもらわないと困る。
 - これからは、本を減らしてもいいから、子どもや高齢者がゆったりと出来るように閲覧スペースを広く取ることが大事だと思う。図書館についても、せめて、現行の半分の面積で試算して欲しかった。
 - 図書館の規模を考える上で、現在の利用率で判断してはダメではないだろうか。現在よりも利用率が上がるような仕掛けを考えるべき。各々の図書館の立場で、今まで以上に入館してもらえるようにいろいろと工夫出来るだろうから、これからの図書館がどうあるべきかを市図書館協議会でしっかりと考えてもらいたい。
 - この複合交流施設にしても、ワクワクや期待感、楽しみにして待つ、ということを広く市民の皆さんに感じてもらうことは非常に大事だと思う。
 - 面積の話も大事だが、せっかく施設を建てても使われなかったら意味がないので、どうやって使っていくか、PRも含めた工夫も大事である。
 - 図書館の有する機能については、大事だと言われながらも上手く使われていないのが現状で、図書館も上手くPR出来ず、その機能が宝の持ち腐れとなっている。
 - PR方法も含めて工夫は大事だが、形が大きい物や後世に残る物は維持管理にかかる負担も必要になってくる。
 - 図書館については、本館(中央図書館)は本館らしい機能を発揮して、分館をフォローして欲しい。少ない蔵書を補うように、機能をカバー出来る体制が必要。
 - そのためには声を挙げていくことが大事だと思っている。図書館を今後どうしていきたいか、ビジョンを話合う場を重ねることが大切。
 - 図書館の職員同士の連携が図られていないことが危惧される。
 - 賑わいの機能にしても、ここにこんな機能が欲しい！というビジョンを持って、必要であれば、例えば人材育成なども行った上で、人が大勢集まるような工夫をして初めて、ものになるというもの。
 - 現庁舎に入居している城端土地改良区の移転先や建て替え中の市民センターの一時移転先をどうするか？ということについても、この会議と同時進行で進めるべきと思う。福光の2つの土地改良区と同じように、行政側で移転先確保と移転費用負担をしていただく方向で対応してもらいたい。行政の重要な仕事であり、もうその作業に入る段階と考える。
 - 仮に、図書館の閲覧スペースでコーヒーが飲めたり、寛げたりするとすれば、閲覧スペースなので図書館部分だけでも、賑わい部分でもある。とすれば、公共的機能と賑わい機能が重なる部分は、公共的機能としてランニングコストを見て欲しいと思う。市の管理部分を出来るだけ増やして、民間での部分は少なくなるように考えるべき。
 - 市商工会城端事務所や市社会福祉協議会城端支所も事務室だけでなく、個別相談など、機能として専用スペースは必要だと思う。いつの時期が適当か分からないが、行政から挨拶を兼ねて、ヒヤリングに伺っていただきたい。
- 資料2は、市商工会城端事務所にも社会福祉協議会城端支所にも必要な面積等を確認したのではなく、こちらで仮に設定したもの。今後、市商工会城端事務所や市社会福祉

協議会城端支所がこの施設に入って、家賃などの費用負担も了解が得られれば、必要な面積を伺って、改めて算定し直すことになるだろう。既にそれぞれに打診していただいているとのことなので、正式に決定すれば当然伺うが、ある程度の段階で、進捗などお伝え出来ればと思う。

- とにかく、食い違いのないようにしていただきたい。
- 城端交流センター（城端公民館）は、現在勤労青少年ホームに入っているが、今後の城端地区のまちづくりを進めるには手狭。市商工会城端事務所には新たに整備する施設に移転してもらって、城端交流センター（城端公民館）はその市商工会城端事務所の抜けた場所に移転してもらえばいいと思っているが、どうだろうか？市商工会城端事務所に了解いただくことが前提だが。
→そうは言っても、商工会館は耐震化されていない老朽化した建物。維持管理も踏まえた上で、地元の協議会長さんはどのようにお考えか？
- 維持管理費が現在の何十倍にも跳ね上がり、市から交付金でもらっている分では不足なくなるのは明白であり、地区住民の皆さんへのご負担を更にお願ひしなければならなくなる。
- 北野も大鋸屋も、市からの交付金では不足、地区住民に負担してもらっている。それは当然のこと、仮に、商工会館へ移転したとして、維持管理に年間100万円程かかるかもしれないが、管理費として市からは46万円の交付金がある。
- 市民センターの移転に係る段取りについても、早急に進めて欲しい。
→市民センターについては、現庁舎を取壊して新築することが正式に決まれば、一時的な移転先を検討しなければならないが、勤労青少年ホームやじょうはな座など、主な市有施設には必要な通信線が既に配備されているので、大きな問題はないと思っている。
- 起業家支援センターに、市民センターが間借り出来るスペースはあるのか？
- 1階のサロンスペースは、現在はセキュリティシステムが入っているが、それでも、朝9時から夕方5時であれば活用出来る。
- 城端町土地改良区の入るスペースはあるか？
- スペースは開いている。面積は、80㎡程はあり、使い方次第になるだろうか。
- 城端保健センターもいいのでは？駐車場もある。
- 今後の議論の方向性は？
→施設がどうのこうのよりも、どういう人がどんな働きを持って運営していくかが、非常に大事だと思っていて、そのためには地域の人々の活躍や参画が必要だと考えている。今の施設の状況を見て、悪い点を改善出来る方法を新しい施設に取り入れていかないといけない。
- 提言にある賑わい機能は決して贅沢なものではなくて、他所から来た人も城端の人も立ち寄れるような機能があれば良いと考えたもの。
- 賑わい機能は、対象を誰にするのかで取組む内容が違ってくると思う。例えば、店舗だと、まずは誰を対象とするのかを決めてから、店の大きさなど詳細を決めていくことになる。このような考え方で進めないと、上手く進めることが出来ないと思うがどうだろうか？
→仰るとおり。まずは、どういう賑わいが欲しいかを決めて、その上でどのように実践していくか、を検討していかなければならない。
- それを次回から検討すればいいのではないか？
- 賑わいづくりについては、今のメンバーでワーキンググループを作って意見を絞り込む必要があるのではないか？それとも、全体ですか？
→全体ですと意見が出にくくなるから、グループ別が良いのではないか。
- これまでの城端庁舎に対する賑わいとは、市職員や行政サービスを必要とする市民、業者など、人の動きを指していたので、庁舎建物がなくなれば、人の動きである賑わいがなくなるのは当然のこと。ここでは、新しい賑わいを作ることがテーマになってくる。
- 図書館機能や美山荘（高齢者福祉）機能など、入れると決めている機能毎に、新しい賑わいとなるような取組みを検討した方が良いのではないか？それを今検討している複合交流施設で実現できるか検討していかなければならない。
- 新しい賑わいを創造するというイメージして、検討を進めてみよう！
→庁舎がなくなったら賑わいなくなるという考えには最初から疑問を持っている。庁舎ではなく、地域内に点在していた様々な機能を集めて複合化して、それによって現在よりも人々が交流出来る機会が増えることを、どのように活かすかが重要。

◆次回会議

日時…9月3日（火）午後7時から 場所…城端庁舎2階 202会議室
内容…複合交流施設における新たな賑わい機能の具体的な内容を検討

城端地域提言実現検討会議

R元.8.20(火)

第4回

資料2

1P-建設費用
の試算

2P-テナントの
試算

・(2枚目)平均コストの内訳は?

人件費含む

人件費は別にして
再計算して下さい

・施設によっては人件費は除く方が良いのでは?

・ex)市民センター1人分としては少ないのでは?

もっと高いイメージだった。

・社協と商工会は家賃をもらうことになる。

A) 市が管理する部分

B) それ以外の部分

テナント

3色ほどに分けると
分かりやすいか?

・美山荘は、合併当時、社協に委託
運営していたばかりに、誤解を持たれたまま
現在に至っている。市内部でしっかりとコンセンサス

はかられたい。

・共用会議スペースの位置付け

・これまでの検討の中でも
重要なポイントであった。

・社協や商工会からも
応分の負担を求める可能性もあろうか?

・美山荘の高齢者福祉機能

・勤労青少年ホーム貸室

よく似た機能があるような



どんな機能がよいか、によっても

必要な面積が変わってくる。

・今まで別々の施設にあったものを

1箇所にとまとめた時に、共有部分もできる
のでは?

美山荘 = 高齢者福祉機能!

根本的な考え方を示してほしい

● 施設の運営は指定管理をイメージか？

・図書館の規模の希望を伝えることは出来ないのか？

● 学習スペースや閲覧スペースは今後必要。本が少なくなっても良いから

・これからますます利用したくなるような図書館機能について、市図書館協議会で検討してもらいたい。

この施設に対する **非常に大事!**

・ **ワクワク、期待感、楽しみに待つ**

・ 図書館の機能についてのPRが不足

・ 面積よりも、使い方の工夫をすべき。

● 中央図が他の図書館をかばってくれるほどになってほしい。

・ 声をあげていくことが大切

・ 図書館は人(司書)が大事

・ 黙っていても賑わいにならない、人材育成などの仕組みにより、賑わいにつなげるようにしたい。

城端町土地改良区の行き先
市民センターの仮の行き先

市が誠意を持って手当てすべきでないか？
直ちに!

・ 図書館の閲覧スペースと賑わい部分は共用できる

↓
出来るだけ市で見ってもらう部分を増やしてほしい。

・商工会も社協も業務として、個別相談が必要なので、そのスペースも確保してほしい

→どちらも、未だ話を伺っていないので、本格的に入ってもらうことにはなれば、伺いたいと考える。

⑧ 城端交流センターが商工会館に入るとすれば、現状よりも維持管理費が多額になることが心配



・北野や大鋸屋のように地区住民の皆さんのご負担もお願ひしてはどうか？

・行政(市民)センターの仮の行き先には、

- ・勤労青少年ホーム
 - ・城端保健センター
 - ・起業家支援センター
 - etc. etc.
- いろいろと可能性は考えられる。

城端町土地改良区も然り

・ちよと立寄れるような賑わいづくりにどんな方法が考えられるだろうか？

新たな賑わい

・ワーキンググループを設置して検討する？



賑わいの対象を誰にするのか？

- ⑨ a) 城端に住んでいる人々 (生活)
- 1) 城端を訪れる人々 (観光)



全体でアイデア出し
次回のテーマ



次回会議

⑤ 9/3



⑥ 9/19 (木)

城端 8/20

③

件名	城端地域提言実現検討組織による会議		
日時	令和元年 8 月 1 日 (木) 19 時～21 時 30 分	場 所	城端庁舎 2 階 202 会議室
出席者	検討組織メンバー：15 名、まちづくり推進係：2 名		
内容	①各種資料の説明 ②提出された企画書案の説明 ③まちづくりの方向性の検討		
概要	<p>◆事務局（市）から、当日配布資料の説明</p> <p>◆企画書（資料 4）の説明（概略のみ記載、提出された企画書の内容は添付のとおり）</p> <p>○石村厚志さん</p> <p>コンパクトで、且つ継続的な複合交流施設の建設が望ましい。そのためには、出来る限り今ある公共サービスを盛り込んで、城端地域の住民の理解を得ることが必要。住民の意見を良く聞いた上で、十分な話し合い（検討、想定）が必要で、会議メンバーの意見が同じ方向を向くようにしていくことが大切である。</p> <p>◆質疑応答（→…事務局発言）</p> <p>●図書館を中心として、市民センターを含む様々なサービスが受けられるようなものが良いと考える。但し、そのためには継続的な収入源が必要。また、福光高校がなくなることからも、高校、大学、放送大学など、通信教育を集約した機能を盛り込むことは出来ないだろうか。「富山みらい高等学院」のようなイメージ。授業料収入があり、使えるような補助金もあるのではないかと。そして何よりも、学生が通ってくれるという効果は大きい。</p> <p>→資料 2 の再編の考え方について、④保健センターは公立南砺中央病院に機能移転することが決まっている。また、拠点となる施設に入ると考えられている機能の中で、行政として今後も維持管理をしていかなければならないのは、図書館、市民センター、勤労青少年ホームの図書館と複合化した部分、の 3 機能と考えている。美山荘の機能は、市では保有しないという方向性が示されているので、複合交流施設に入れるとなると、その部分の維持管理をどうするのか考えなければならない。また、図書館については、今年度の市図書館協議会で、今後のあり方の方向性が示されることになっているとのことなので、結果を待ってから、議論を進める方が良い。（次回は 9 月開催予定）また、商工会館は、提言では城端まちづくり協議会が入ることになっているが、建物の老朽化が著しく、もし城端まちづくり協議会に譲渡出来なければ「休止後解体」になるだろう。</p> <p>●行政センターが、市民センターとして残るということだが、配置される職員数はもう決まっているのか。</p> <p>→城端は、5 名配置することになっている。</p> <p>●市図書館協議会は、「城端には図書館を配置しない」ということを決めることが出来るような組織なのか？</p> <p>→図書館が無くなる、と言っているのではなく、図書館の規模や移動図書館などの運用がどのようになるのか、ということである。</p> <p>●城端の提言では、図書館機能が重要なポイントになるので、市図書館協議会の開催を早めてもらって、この会議の議論が停滞することのないようにしていただきたいところ。</p> <p>●市の重要会議とこの会議との間に食い違いが生じないようにしたい。市当局サイドの歩調も合わせていただきたいものである。</p> <p>●他の地域では、複合交流施設等への図書館の機能移転などの話はあるか？</p> <p>→井波は、現庁舎を活用して民間で維持していこう、という議論がなされている。その中へ井波図書館の機能を移転できないか、という議論もなされている。未確定ではあるが、もし、行政が持つという方向になれば、城端と同様、市図書館協議会の議論を待ってからの検討になる旨説明させていただいている。民間で取り組むことになれば、柔軟に取り組むことが出来るのではないかと、思っている。</p> <p>●井波庁舎の耐用年数は、城端庁舎とはどのくらい違うのか？</p> <p>→井波の方が少し新しい。旧 4 町の庁舎建物の中では井波が一番新しい。他の地域の検討の詳細は、市のホームページに会議録を掲載しているので、そちらでも確認していただきたい。井波では、壊してしまって宅地造成を、という意見もあったが、「壊すことはいつでも出来る」と考えれば、「今ある建物をしっかり活かして使っていこう」ということで検討が進められている。</p> <p>→福野図書館はヘリオス内にある。ホール機能は市内で 1、2 箇所しか持てないという話の中で、ヘリオスもその対象に入っており、もし、ヘリオスを市で持たない、という方</p>		

向になれば、福野図書館をどこかへ移転するという検討が必要となり、現在進めているこの会議での議論になるかもしれない。

→福光は、中央図書館の位置づけ。建物は新しくないが、リニューアルしてから年数はさほど経過していない。日本図書館協会が示した、人口に対する図書館の広さを計算すると、将来的には中央図書館1つで十分である、という意見もあるが、各地域に図書館機能は残すということが決まっているので、図書館が無くなることはないが、中央図書館が中心になっていくということは、現時点では間違いなしと思われる。

●提言実現に向けた今後のスケジュールについて、目標とする時期から逆算した、最も望ましいスケジュールを市から示してもらえないのか。

→提言については、選ばれて参加している新メンバーの中からも別意見や反対意見が出されており、この会議メンバーの総意の方向性が定まらないような状態で、スケジュールを示すことは出来ない。城端地域が目指す方向性の具現化に向けて、まだまだ議論が足りないのでは。この会議のメンバーが、納得の行くまでしっかりと議論出来るような場を確保して、思いが同じ方向を向いてから提言実現に向けた議論を進めるべき。

●住民全員を説得するのは無理。但し、説得出来るような良い案を示せば、住民の理解も得られると考えている。そこへもってきて、提言を初めから見直すという堂々巡りをするようなことを言われても困る。我々も自信を持って説得の出来る良い案を、議論を重ねて練り上げていく。提言のようなポンチ絵ではダメ。住民全員の理解を得られなくても、大かたの理解を得られるような案にしたい。

●城端地域で話がまとまったら、設計の段階に進めるのか？それとも、4地域が揃った段階になるのか？例えば、10月、11月に話がまとまったら、来年度の予算に付けてもらえるということになるのか？

●当初の話では、我々もそのように市から聞いていたから、そのつもりで気合を入れて議論しようとしていた矢先に、反対意見云々という話となった。提言を初めから見直してくれ、と言われても、これまでの提言検討^{けんけんがくがく}の議論はどうなるのか？

●前回の会議でも、メンバーの中で喧々諤々していたが、様々な意見が出るのは良い。それをどこに集約していくかはこのメンバーで決めていけば良いと思う。もちろん、これまでの提言検討の議論は大切にしなければならない。1年間かけて議論してきたのだから、そのまま活かす部分、修正する部分として、更に具体化に向けた検討を進めてはどうだろう。

●絵が先になるのか？自分たちがこれまで一生懸命考えてきた提言を理解してもらうことが先なのではないかと思っていたのだが。

●建物を建てる時には、素案→基本構想→実施計画と段階を踏むものと理解しているが、今我々はどの部分の議論をしているのか？基本構想の部分か？1年かけて話し合ったのだから、提言である基本構想が出来上がっていると思っているが、その提言を最初から見直すということなのか？

●市の方針が揺らぐから話が先に進まないのだ。全くもって納得出来ない。

●検討している複合交流施設に、市民センターや図書館、勤労青少年ホームの機能が入るとすれば、その部分は市で維持管理を見るところなのだから、それ以外の部分について考えれば良いのではないか？

●勤労青少年ホームの機能とは？

●サークル活動や貸室。

●そのような機能は、じょうはな座でも対応出来るのでは？

●美山荘の機能とは何か？古くなったからもう知らない、でいいのか。高齢者福祉施設の機能のあり方についてはここでは議論できないので、市で方向性を決めていただきたいと思う。

●今後、絵を基に話すべきではないと思っているが、コンセプトが本当にこれで良いのかどうかを議論すべきと考える。美山荘やそれぞれの建物の機能を入れること、現庁舎の利活用の可能性、現在、現庁舎に入っている城端町土地改良区はどうするのか、など、コンセプトの中にはまだまだ案を詰め込むことは可能だろう。そうすれば、どんな形態が適当なのかが見えてくるはず。まずは、提言にある機能が本当に必要かどうかを議論し、次に初期投資額を試算、必要人員の配置が見えれば経常経費額も試算出来るだろう。

●図書館、市民センター、市商工会城端事務所、市社会福祉協議会城端支所の4つを入れるだけで形は作れるのではないかと考える。複合交流施設を作ろうと思えば、そんなに喧々諤々しなくても、青写真は描けると思う。それらの4機能に、追加する賑わいの機能は何かふさわしいのか、ここは慎重に議論すべき。子育て支援センター的機能なのか、美山荘のような高齢者向け機能なのか、建物のメインとなる機能である。

●今言われた4機能と、メインとなる賑わいの機能だけで本当に良いのだろうか。例えば、

これまで美山荘へ行っていた皆さんには、次の施設を案内しなければならない。また、小中学生が図書館を利用するのであれば、利用人数がどの位で、小中学生の動線がどのようになるのか、せめてこの程度までのイメージをこの会議で検討した上で判断すべきと考える。

- 城端地域の、子どもからお年寄りまでが、次の行動をイメージ出来るようにしてあげなければならない。この会議は、施設の検討会議ではなく、城端のまちづくりを考えているのだから、そこまでのことを明確にしないとイケないだろう。
- メンバーからの企画書には、現在の施設利用者にとって今よりも不便にならないこと、とあったが正にそのとおりである。今後、新設建物の利用になるのか、既存の別施設の利用になるのか、現在の施設利用者の次の利用先を確保してあげなければならない。これは大事な視点である。住民から「(行き先が無くなって) 何をしてくれたんだ!」と言われるようではダメ。
- それに併せて、5年後10年後を見据えた形を考慮していかなければならないと思う。
→先のご質問に戻るが、4地域が議論の足並みを揃える必要はない。市としては、早く基本構想や設計まで議論を進めて、取組めるところから予算化して取組んでいきたいと考えている。
→先ほどからの議論にあるように、市民センター、図書館、勤労青少年ホーム、市社会福祉協議会城端支所、市商工会城端事務所が入った施設として、仮に面積や費用などを、次回会議から詰めていく方向で良いか?
→(全員) 異議なし
- 昨年のもちづくり検討会議の折には、担当者の他にも、担当部長や他の部署からも職員が同席していた。今年度の会議も同様に、課長も部長クラスも同席すべきではないか。上層部の危機感が無さ過ぎである。
- 市社会福祉協議会城端支所、市商工会城端事務所など、こちらが一緒に入ろうと考えている団体の意向も確認しないと、逆に、入ってもらえずに空きスペースになる可能性も考えられるのでは。
- 市社会福祉協議会城端支所長にも議論に入ってもらって、必要な機能を聞かせてもらう必要があるのではないか。
- 城端地域を1つのデパートに見立てて、今検討している建物が総合案内所。「これなら、〇〇へ行かれ」「それなら、▲▲へ行かれ」などと案内するようなイメージが、提言の中のコンシェルジュである。
- 総合案内所的なイメージについては、その1点に絞って議論すべきでは。
→賑わいづくりの機能についても、提言にある内容で、仮に検討を進めても良いか?
→(全員) 異議なし

◆次回会議

日時…8月20日(火)午後7時から

場所…城端庁舎2階 202会議室

内容…1. 複合交流施設整備に係る維持管理コストの試算シミュレーション
2. 具体的な活動内容及び運営方法の検討

複合交流施設整備に係る維持管理コストの試算

複合交流施設に入れる機能および床面積を、以下のとおり仮定して試算を行う。

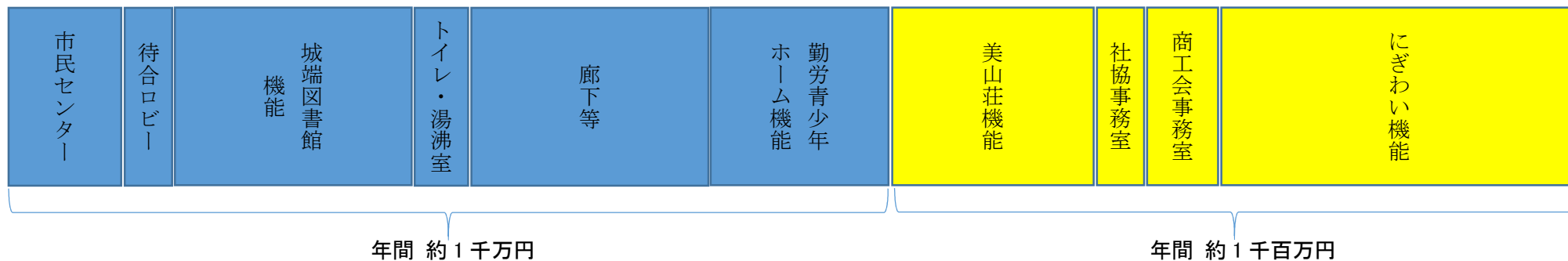
(入れる機能)	(算定内容等)	(床面積)
市民センター	執務室+書庫等:配置職員数 × 19 m ²	95 m ²
待合ロビー	待合スペース:配置職員数 × 8 m ²	40 m ²
城端図書館機能	方針が定まっていないが、事務所、書庫を含むものとして仮定	200 m ²
トイレ・湯沸室	男性用 15 m ² +女性用 20 m ² +バリアフリー用 5 m ² +水屋 5 m ²	45 m ²
廊下等	全体の 25%程度、オープンスペースや待合ロビーを兼ねることも想定	200 m ²
勤労青少年ホーム機能	音楽室、講習室、読書室	150 m ²
美山荘機能	平成 30 年度の利用実績より検討	170 m ²
社会福祉協議会事務室	事務所、倉庫を含むものとして仮定	40 m ²
商工会事務室	事務所、倉庫を含むものとして仮定	60 m ²
にぎわい機能	総合案内、カフェスペース、おみやげ販売、そば道場など	300 m ²
		計 1,300 m ²

【イニシャルコスト】



新築の場合・・・参考単価:建築コスト情報(2019・1月)より 図書館(鉄筋コンクリート造) 202,981 円/延m² × 1,300 m² = 263,875,300 円 (消費税含まず)

【ランニングコスト】



既存公共施設の床面積当り平均コストにより試算(消費税込み)

市民センター	95 m ²	×	7,914 円	=	751,830 円
待合ロビー	40 m ²	×	12,000 円	=	480,000 円
城端図書館機能	200 m ²	×	24,808 円	=	4,961,600 円
トイレ・湯沸室	45 m ²	×	12,000 円	=	540,000 円
廊下等	200 m ²	×	12,000 円	=	2,400,000 円
勤労青少年ホーム機能	150 m ²	×	8,329 円	=	1,249,350 円
小計					10,382,780 円
美山荘機能	170 m ²	×	15,698 円	=	2,668,660 円
社会福祉協議会事務室	40 m ²	×	7,914 円	=	316,560 円
商工会事務室	60 m ²	×	7,914 円	=	474,840 円
にぎわい機能	300 m ²	×	25,000 円	=	7,500,000 円
小計					10,960,060 円
合計	1,300 m ²				21,342,840 円

城端勤労青少年ホーム 年間利用状況(直近3か年)

年度		H27				H28				H29				H30			
部屋種別	床面積	日数		利用数		日数		利用数		日数		利用数		日数		利用数	
		利用日数	休館日数	利用件数	利用人数	利用日数	休館日数	利用件数	利用人数	利用日数	休館日数	利用件数	利用人数	利用日数	休館日数	利用件数	利用人数
料理室	60㎡	12	0	20	177	21	0	21	193					18	0	29	881
和室	58㎡	12	0	227	1,294	173	0	204	1,276					153	0	169	928
音楽室	60㎡	12	0	85	967	86	0	93	1,079					86	0	91	961
講習室	60㎡	12	0	286	2,557	193	0	315	2,657					161	0	260	2,809
読書室	29㎡	12	0	206	1,273	65	0	79	461					75	0	94	1,162
娯楽室	118㎡	12	0	106	1,286	92	0	135	1,320					77	0	98	1,072
		7,554				6,986				6,378				7,813			

(↑83人誤差確認中)

- ・いずれの貸室も一定程度の利用がみられる。
- ・近隣の既存施設の内、貸室利用等の受け皿として、連携利用が期待される施設
 - ・じょうはな座の大ホール、ロビー、会議室1,2、練習室1,2,3,4,5
 - ・城端小学校(特別教室棟)の多目的ホール、家庭科室(調理室)、和室(茶室) ←料理室、娯楽室の代替として利用
 - ・南砺農業会館
 - ・城端別院善徳寺 ←和室の代替として利用

公共施設情報(城端地域)

資産名称	延床面積 (㎡)	建物 構造	建築 年度	耐用 年数	耐用 年数 到来	施設情報															床面積当り 平均コスト (円)				
						対象施設 面積(㎡)	利用者数(人) (A)					収入(千円) (B)					支出(千円) (C)								
							H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28		H29			
南砺市城端公民館(勤労青少年ホーム)	61.00	RC	1971	50	2021	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南砺市大鯉屋公民館	387.72	RC	1968	50	2018	388	1,038	1,184	1,547	1,351	1,270	0	0	0	0	0	1,049	781	1,684	1,264	510			2,726	
南砺市藁谷公民館	418.90	RC	1978	50	2028	419	2,819	3,216	3,524	3,260	3,103	0	0	0	0	0	431	647	582	707	485			1,361	
南砺市北野公民館(北野ふれあいセンター)	525.34	W	2004	24	2028	525	7,829	6,837	7,279	7,004	3,546	0	0	0	0	0	886	1,025	930	1,309	1,276			2,067	
南砺市城端勤労青少年ホーム	613.52	RC	1971	47	2018	614	9,074	8,088	7,554	6,903	6,378	619	572	559	566	836	5,895	5,172	4,765	4,810	4,927			8,329	
南砺市城端伝統芸能会館	2,314.67	SRC	2005	50	2055	2,315	23,203	22,731	30,883	32,004	30,541	11,283	12,071	16,121	14,388	14,429	52,870	45,772	52,868	52,118	54,975			22,342	
南砺市立城端図書館	872.05	RC	1975	50	2025	872	31,286	30,938	30,046	29,730	30,642	32	37	35	29	28	22,190	21,724	21,308	21,370	21,573			24,808	
南砺市城端陶芸工房(増築部)	50.41	S	2001	31	2032																				
南砺市城端陶芸工房	193.20	S	1973	31	2004	244	644	825	1,037	1,258	1,290	0	171	16	48	55	480	575	507	827	1,006			2,783	
南砺市城端曳山会館	742.81	RC	1981	50	2031	743	6,355	6,032	4,325	6,870	8,018	2,812	2,656	1,915	2,788	3,295	15,293	13,287	12,439	16,403	13,545			19,103	
南砺市土蔵群「蔵回廊」	631.83	W	1993	24	2017	632	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南砺市城端西部体育館	635.97	W	1987	22	2009	636	4,693	4,499	4,210	5,129	4,701	95	104	161	201	267	287	564	322	436	436			643	
南砺市城端東部体育館	740.04	SRC	1979	47	2026	740	6,144	7,479	8,464	7,828	7,456	167	235	368	354	337	774	602	589	940	747			987	
南砺市城南屋内グラウンド	2,685.00	RC	2006	47	2053	2,685	33,307	39,905	43,346	40,609	38,721	2,413	2,479	2,991	3,710	3,410	18,160	21,953	28,951	24,123	25,471			8,839	
南砺市城端温水プール	1,047.75	S	1976	34	2010																				
南砺市城端温水プール(クラブハウス)	163.50	S	1987	34	2021	1,211	16,387	17,768	21,364	17,414	21,734	8,888	11,239	11,886	1,057	838	25,926	27,870	29,006	18,206	20,314			20,037	
南砺市桜ヶ池クライミングセンター	573.81	S	1999	34	2033	574	7,503	8,002	8,644	7,965	8,410	1,797	2,160	2,206	2,178	2,012	3,547	2,451	5,932	6,025	7,001			8,695	
南砺市城南スタジアム	776.54	SRC	1992	50	2042	777	7,539	7,311	7,101	8,199	6,285	1,406	1,290	1,600	1,697	1,304	8,920	8,765	8,554	9,435	7,896			11,215	
南砺市桜ヶ池クアガーデン(食の健康拠点施設)	3,003.39	S	1999	31	2030																				
南砺市桜ヶ池クアガーデン(温浴施設)	1,994.87	RC	1999	47	2046	5,299	148,842	153,336	153,544	171,865	175,687	202,991	166,857	192,803	201,556	203,590	239,058	213,220	206,886	234,119	236,917			42,657	
南砺市桜ヶ池クアガーデン(熱源施設)	301.21	S	1999	31	2030																				
城端体験ハウス	198.73	W	1980	22	2002	199	-	-	3	35	29	-	-	19	138	52	-	-	7,199	645	376			13,769	
自遊の森入浴施設	98.51	W	1997	22	2019																				
南砺市桜ヶ池自然活用施設「自遊の森」(総合管理棟)	517.76	S	1988	38	2026																				
ふれあい広場施設(自由自遊家・ジュウジュウハウス)	728.20	S	1993	31	2024																				
林間休養施設(コテージ)	61.97	W	1989	22	2011	1,592	8,784	10,860	12,219	8,702	8,033	19,417	19,079	9,723	9,142	17,444	30,233	28,794	30,567	18,834	25,709			16,851	
林間休養施設(コテージ)	61.97	W	1989	22	2011																				
林間休養施設(コテージ)	61.97	W	1989	22	2011																				
林間休養施設(コテージ)	61.97	W	1989	22	2011																				
桜ヶ池休養所	52.93	W	1993	24	2017																				
桜ヶ池公園水上休憩所	51.56	W	1990	24	2014	244	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	519	120	0	0	0			524	
桜ヶ池エントランス広場展望施設	139.98	S	2003	38	2041																				
南砺市桜ヶ池農産物直売所	483.43	S	2009	38	2047	483	111,606	104,902	115,050	88,251	84,014	32,384	27,621	30,535	31,204	29,833	28,839	29,664	29,770	31,174	29,094			61,508	
南砺市原山牧場	260.41	S	1999	31	2030	260	休止	8	8	7	7	0	0	0	484	499	876	2,556	0	1,048	2,457			5,336	
南砺市城端起業家支援センター	1,424.06	RC	1979	50	2029	1,424	531	599	654	15	7	7,342	7,848	7,778	1,696	1,600	10,546	10,962	10,830	6,853	6,909			6,475	
南砺市城端織物会館	532.65	W	1927	24	1951	533	10,810	8,175	11,058	9,962	9,266	62	0	0	0	0	10,515	10,699	8,875	9,563	8,127			17,928	
南砺市クリエイタープラザA棟	917.20	W	2016	24	2040																				
南砺市クリエイタープラザB棟	831.85	W	2016	24	2040	1,749	-	-	-	12,621	22,737	-	-	-	5,285	5,921	-	-	-	23,665	18,024			11,918	
南砺市立城端小学校(普通教室・管理棟)	4,277.23	RC	2005	47	2052																				
城端小学校プール(クラブハウス)	140.40	RC	2006	38	2044																				
南砺市立城端小学校(特別教室棟)	2,055.40	RC	2006	47	2053	8,380	433	439	409	412	404	598	515	417	540	603	43,941	46,212	45,620	41,548	46,626			5,345	
南砺市立城端小学校(体育館)	1,598.22	SRC	1970	47	2017																				
城端スクールバス格納庫(城端小学校)	308.63	SRC	1978	38	2016																				
南砺市立城端中学校(校舎)	6,326.00	RC	1986	47	2033																				
南砺市立城端中学校(体育館・クラブハウス)	1,774.00	RC	1986	47	2033																				
南砺市立城端中学校(卓球場)	157.00	RC	1986	47	2033	9,429	189	210	223	212	202	645	631	571	585	585	15,620	26,498	25,798	21,327	21,912			2,358	
南砺市立城端中学校(部室等)	334.00	RC	1986	38	2024																				
南砺市立城端中学校(柔剣道場)	838.00	SRC	1986	47	2033																				
南砺市立城端さくら保育園	2,724.65	RC	2003	47	2050	2,824	262	246	231	225	201	51,983	45,578	31,691	30,471	27,483	223,560	238,729	197,978	170,352	150,960			69,517	
南砺市立城端さくら保育園(自動車庫)	99.02	S	2003	31	2034																				
城端児童館	620.00	RC	2016	47	2063	620	-	-	-	-	15,197	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	7,413		11,956	
南砺市立子育て支援センター「さくらんぼ」(城端さくら保育園)	268.70	RC	2003	47	2050	269	5,831	4,717	4,773	5,110	4,537	0	0	0	0	0	2,181	1,951	979	836	814			5,027	
城端介護研修センター	142.20	W	2000	24	2024	142	111	96	103	75	58	5,631	5,174	5,768	5,691	5,610	5,663	5,244	5,849	5,771	5,686			39,737	
城端老人福祉センター「美山荘」	680.28	RC	1979	47	2026	706	10,033	10,951	12,214	12,261	10,672	3,312	2,874	2,878	3,598	3,144	11,445	10,882	10,779	11,666	10,642			15,698	
南砺市城端保健センター	547.74	RC	1980	50	2030	548	990	1,108	1,343	1,239	1,169	0	0	0	0	0	128	562	514	313	547			753	

